

計画事業番号	00603	事務事業名	エルフィンパーク活用事業	担当部署	市民環境部エルフィンパーク	電話	376-8880
--------	-------	-------	--------------	------	---------------	----	----------

【基本情報】

事務区分	■自治事務 □法定受託事務		根拠法令等				
事務事業開始年度	平成12年度		個別計画等				
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	単独	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第5章)	快適な生活環境のまち
	(第1節)	市街地整備の推進
	(施策2)	駅周辺まちづくり
2 対象	市民及びサークル	
3 目的と内容	エルフィンパークを活用し、市民に多様な憩いと集いの場を提供するとともに、市民自らの活動や交流を促進するため、市民やサークルによる展示などのイベントの場を提供する。市民サービスコーナーを活用し、戸籍等各種証明の交付などの行政サービスの向上を図る。	
4 実施内容(手段)	28年度まで	市民サービスコーナー受付窓口を平日は午前7時30分から午後7時30分までとし、休日(土・日・祝日)については、平成18年4月1日より午前9時から午後5時まで開所している。 ▽業務内容:戸籍等各種証明の交付、交流広場利用者申請の許可、掲示板使用申請の許可、検診受診申請書等の交付・預かり及び市内施設・行事の案内などを行っている。 ▽配置職員:再任用職員2名、非常勤職員5名 なお、平成23年4月5日より交流広場の一角に福祉ショップがオープンし、障がい者に対する地域社会の理解の醸成が図られている。
	29年度	昨年度と同様であるが、行政サービスのさらなる充実・向上を図る。

【事業の計画・実績】

平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画	計画
エルフィンパーク及び市民サービスコーナーの活用	戸籍等諸証明(平日7,311件休日2,866件) 広場利用許可(実団体数60 延団体数123) 検診受診等申請(平日7,299件休日1,684件)	エルフィンパーク及び市民サービスコーナーの活用		エルフィンパーク及び市民サービスコーナーの活用		エルフィンパーク及び市民サービスコーナーの活用	

総合判定		平成30年度に向けた具体的な方向性		評価区分
前年度2次評価	現状継続	現状継続とする。		「拡大」 「現状継続」 「要検討」 「見直し」 「統合」 「休止・廃止」 「終了」
1次評価	現状継続	市民の利便性の向上に繋がっているが、利用頻度の少なく効果の薄い時間帯等の取り扱いについては、縮小の検討も必要であるとする。また、現状の取扱業務のほか多目的な取り扱いが話題となっているが、慎重な検討が必要である。		
2次評価	要検討	今後の方向性について検討をすること。		

【事業費の推移】

(単位:千円)

		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		
決算額、当初予算額又は推進計画額		10,307		10,023		10,094		10,094		
事業額	直接事業費	国支出金	0		0		0		0	
		道支出金	0		0		0		0	
		地方債	0		0		0		0	
		その他特財	3,210		2,999		2,989		2,989	
		一般財源	7,097		7,024		7,105		7,105	
		① 合計	10,307		10,023		10,094		10,094	
	人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)	0.00	1.00	0.00	1.60	0.00	1.60	0.00	1.60
		③ 1人当り年間平均人件費	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500
		④ =②×③	0	4,500	0	7,200	0	7,200	0	7,200
		総事業費①+④	14,807		17,223		17,294		17,294	

【評価指標】

		単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
活動指標	①交流広場実利用日数/可能日数	目標値	日	340/362	340	340	340
		実績値		313/361			
	②戸籍・住民票等証明発行件数	目標値	件	8,700	8,700	8,700	8,700
		実績値		10,177			
③所得課税証明書等発行件数	目標値	件	300	300	300	300	
	実績値		884				
④	目標値						
成果指標	① 交流広場利用率	目標値	%	95	95	95	95
		【指標の定義(算式等)】	実績値		87		
	② 証明書発行件数	目標値	%	100	100	100	100
		【指標の定義(算式等)】 28年度確定値10,177/27年度確定値10,665	実績値		95		
	③ 窓口取扱人数の伸び率	目標値	%	100	100	100	100
		【指標の定義(算式等)】 28年度確定値16,555/27年度確定値17,280	実績値		96		

【評価項目】

チェック項目		評点	コメント
妥当性	・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか? ・上位の施策への貢献度は大きいですか? ・特定の団体の利益に偏っていませんか? 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	北広島駅を利用する通勤・通学者並びに休日(土・日・祝日)における市役所閉庁時での行政サービスは、市民の利便性の向上から見て妥当と考える。また、交流広場の利活用についても、市民交流の促進という公益性からも妥当と考える。
達成度	・計画どおりに成果があがっていますか? 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	交流広場及び掲示板については、利用者にとって効果的に活用されている。また、市民サービスコーナーについても、休日の開所等により市民サービスの向上が図られている。
成果向上	・成果が現状よりも向上する可能性がありますか? 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	2	本庁の開庁時間以外の時間帯及び休日(土・日・祝日)の開所は、市民の利便性の向上に繋がっているものと考えが、利用頻度の少なく効果の薄い時間帯等の取り扱いについては、縮小の検討も必要であると考え。また、その際はコンビニ交付の導入も絡め検討を要するものと考え。
経済性	・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありますか? 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	市民サービスコーナーについて、上記の検討が考えられる。また、交流広場の活用については、利用料の徴収が考えられるが、市民交流の促進という公益性の観点や、当該施設が道路であることから、受益者負担はなじまないと考える。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けあり	<input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
------------------------	------------------------------------	---

【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。 <input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。
-----------------------------	--